

1 調査目的

- ・児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・このような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 結果公表の趣旨

- ・結果を公表することは、保護者や地域住民の方々に対し、説明責任を果たすこととなります。また、分析した調査結果は、印南小学校における教育活動の改善に生かします。ただし、この調査により測定できる学力は特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないということをご理解ください。

3 調査実施日・対象学年

- ・平成29年4月18日（火） 第6学年

4 結果の概況（○結果から ・課題 ★改善のための方策）

学習

国語A（主として知識）

- ことわざの意味の理解はよくできていた。
- 古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読むことはよくできていた。
- ・互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことに課題がある。



- ★「話す・聞く能力」を高めるために、話し合いやスピーチなどの言語活動の充実を図る。また、話し合いのとき、司会者や提案者、参加者等の役割を設定し、メモを取る等工夫して考えの共通点や相違点を整理しながら話し合う。

国語B（主として活用）

- 自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることはよくできていた。
- 物語を読み、具体的な記述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることはよくできていた。
- ・目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることに課題がある。



- ★自分の考えを筋道立てて文章に書いたり、条件に合わせて整理しながら書いたりする機会を多く設け、自分の考えを表現する活動を意図的に取り入れる。

算数A（主として知識）

- 『数量関係』の領域の正答率が高かった。その中でも、資料から二次元表の合計欄に入る数を求める問題はよく理解していた。
- 『量と測定』『図形』の領域は概ねできていた。
- ・『数と計算』の領域では、「乗法の性質を理解する問題」や「加法と乗法の混合した、整数と小数の計算問題」の正答率が低かった。



- ★小数の乗法を整数の乗法に置き換えたり、計算の順序を具体的な場面と結びつけて理解したりすることを繰り返し学習する。

算数B（主として活用）

- 割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶ問題はよく理解していた。
- ・全体的に記述式の問題に課題がある。特に、与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、その判断の理由を記述する問題の正答率が低かった。



- ★思考力の基礎となる、数量についての知識・理解や技能を高めていくため、ドリルタイムや好学習チャレンジプリントを効果的に活用するとともに、応用問題を解く機会を多く設け、いろいろな問題に慣れさせる。
- ★問題解決の際に、式だけでなく図や絵などを使って、自分の考えを説明する場面を多く取り入れる。

意識調査

- 朝食を毎日しっかりと食べている児童が多い。起床時刻と就寝時刻が一定していて、規則正しい生活をしている児童も多い。
- 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」という設問に対して、肯定的な回答の割合が高い。
- 「学校の授業以外に、普段1日当たり、どれくらいの時間勉強をしますか」という設問に対しては、1時間以上勉強している児童が全国平均より高く、また1日当たりの読書時間についても、10分以上読書する児童の割合が全国平均より高い。
- 家で予習、復習をする児童の割合が全国平均より高く、また計画的に勉強をしている児童が多い。
- 「学校に行くのは楽しい」や「学校で友達に会うのは楽しい」という設問に対して肯定的な回答の割合が高く、友達と学校生活を楽しんでいると考えられる。また、「学校のきまりを守っている」「友達との約束を守っている」と回答した児童の割合も全国平均より高い。
- 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたい」という設問に対して、肯定的な意識をもつ児童が多い。
- ・地域社会などでボランティア活動に参加した経験がない児童が多い。
- ・新聞を週に1回以上読んでいる児童の割合が低い。
- ★全校で「学年×10分の家庭学習」（自学）に取り組んでおり、自学の習慣は身に付いている児童が多いが、内容や時間に個人差がある。今後は、個々の課題や能力に合った内容に取り組みさせるなど、質を高めていくことが必要である。

…[自学の内容の再確認]…

- ★国語の学習が好きで、読書の時間や図書館利用は少なくないが、新聞を「ほとんど、または、全く読まない」児童が70%を超えている。学校では、「小学生新聞を」棚等に入れて差し替えているが、読んだり、活用したりする機会を増やしていきたい。

…[新聞を教材として活用するNIE教育など]…